

PATEK PHILIPPE  
YOSHIDAに集いし  
パテック フィリップの名品たち

写真・岡村昌宏 文・小泉庸子 デザイン・小林泰和



右：Twenty~4 永久カレンダー「7340/1R-010」超薄型自動巻きムーブメント Cal.240 Q搭載。RGケース、ケース径36mm、3気圧防水、21,590,000円（税込）  
中：スプリット秒針クロノグラフ「5370R-001」手巻きムーブメント Cal.CHR 29-535 PS搭載。RGケース、ケース径41mm、3気圧防水、51,860,000円（税込）  
左：ワールドタイム「5330G-001」自動巻きムーブメント Cal.240 HU C搭載。WGケース、ケース径40mm、3気圧防水、14,100,000円（税込）

東 京・渋谷区幡ヶ谷で1920年の創業以来、1  
世紀を超えて時計と向き合ってきた『YOSH  
IDA』。パテック フィリップの正規販売店として50  
余年の信頼と充実の品ぞろえで、高い評価を得ている。  
今回は複雑機構搭載モデルから3本を紹介したい。

右の「トゥエンティフォー 永久カレンダー」は、同コ  
レクション初の複雑機構モデルであり、ダイヤモンド  
をあしらわないラウンド型で初のローズゴールド仕様  
だ。オリーブグリーン・ソレイユのダイヤルが放つ静  
かな輝きと、ポリッシュ仕上げが施されたローズゴ  
ールドのコントラストはみごと。超薄型ムーブメントに  
永久カレンダーとムーンフェイズを凝縮した仕立ては、  
エレガンスと精緻な機構の高次な融合といえよう。

中央の「スプリット秒針クロノグラフ」は2025  
年に5370モデル初のローズゴールド仕様として登  
場。ダイヤルのブラウンカラー部分は「グラン・ブルー」、  
サブダイヤルとタキメーター部分は「シャンルヴェ」  
という製法の違うエナメル技法により作られており、  
奥行きのあるダイヤルが完成した。その佇まいはグラ  
ンド・コンプリケーションの名にふさわしい。

左の「ワールドタイム」は、2023年の東京ウオ  
ッチアート・ブランド・エキシビションにて限定モデ  
ルとして初披露され、その翌年に正規コレクションと  
なったという特別な経緯を持つ。カーボンパターンの  
ブルーグレーのダイヤルに同色のデニム柄バンドを合  
わせた意匠は独創的で、軽やかな雰囲気併せ持つ。  
24タイムゾーンが一目でわかる機能も魅力的だ。

希少なモデルをそろえる「パテック フィリップ・  
フロア」にて、その真価を確かめていただきたい。

INFORMATION

YOSHIDA 東京本店

住所 東京都渋谷区幡ヶ谷2-13-5  
電話番号 03-3377-5401  
営業時間 10:30~19:30  
年中無休(年末年始を除く)  
<https://watch-yoshida.co.jp>



スイス・ジュネーブ本店の  
世界観を採り入れた東京本  
店2階の「パテックフィリ  
ップ・フロア」。世界でも希  
少なモデルが多数ラインナ  
ップし、豊富な知識を備え  
た専任スタッフが常駐する。